

授業計画書(シラバス)

教科名	キルンワーク II	曜日 時間	木曜日、金曜日 9:10～15:50	担当教員名	松藤 孝一
-----	-----------	----------	-----------------------	-------	-------

	前期指導案			後期指導案	
(年間 2回 6授 回業 日)	4月	12 18 19 25 26		10月	
	5月	9 10 16 17 23 24 30 31		11月	
	6月	6 7 13 14 27 28		12月	
	7月	4 5 11 12 18		1月	
	9月	12 13		2月	
方授 法業	(講義 ・ 実技)			(講義 ・ 実技)	
授 業 内 容	<p>以下の課題を通して授業を進めていく。 課題-キルンワーク:ガラス表現の探求 この課題は、キルンワークをベースとしたガラス表現の研究である。1年次に発見した素材や技法からスタートすることも可能で、学生が様々な角度から素材や技法を見つめ直し、表現としてのガラス研究に取り組む。</p> <p>また、必ずしも素材や技法ベースで始める必要もない、コンセプトをどうにかたちで素材に転化できるのかも重要なアプローチである。視覚的に手を動かすだけでなく、思考的な要素も研究の対象である。</p> <p>名古屋芸術大学での連携講評会(7/12)、そして最終的に前期の全体講評会で完成度のある作品を発表する。</p>				
到達 目標	この授業では、学生本人が研究題目を教員と相談しながら決め、その研究、また個人のレベルに合わせた目標を設定して行う。				
成績 基準 評価	成績評価の基準は以下の通りである。 積極的な授業への参加／意欲的な学習態度／課題の完成度／個人の成長度／出席状況				
留意 事項	この授業では、学生の自主性が求められる。				